

火災共済と地震風水害共済セットがお勧め

2018年は日本列島にて自然災害が多発



国鉄労働組合
東海エリア本部
東京都港区新橋5・15・5
交通ビル4階
発行責任者 長岡正之
編集責任者 一柳弘一

2018年自然災害一覧

災害	発生日
大阪北部地震	6月18日
西日本豪雨	6月28日
滋賀米原竜巻	6月30日
台風12号	7月29日
台風20号	8月23日
台風21号	9月5日
北海道胆振 東部地震	9月6日
台風24号	10月1日

2018年も残すところ、わずかとなくなりました。今年を振り返ると、自然災害の猛威が日本列島を襲った一年間でした。6月18日の大阪北部地震に始まり、7月の西日本豪雨、滋賀県の竜巻被害、通常と異なる進路をとった台風12号や台風20号、9月には北海道胆振東部地震、台風21号と24号など、例年と比べて多くの自然災害が発生しました。

交運共済でも、組合員から多くの被害報告を受け付けております。被災された組合員には心よりお見舞い申し上げます。

現在、交運共済では組合員の救済に向けて、一日も早い共済金決定のために日夜尽力しております。共済金を受け取った組合員の中には、被災した事によって改めて火災共済・地震風水害共済の必要性が再認識できたという話も聞かれています。

日頃から職域共済として、相互扶助の精神にのっとり、職場や組合に根付いた活動を展開している交運共済が、その力を大いに発揮した一年間となりました。

今後も、東海事業本部では組合員の皆様に、より一層交運共済を利用するよう取り組みを展開し、相互扶助の精神を組合内・職域内に拡大する活動を積極的に展開して行きます。

2018年の災害	被害受付件数（11月末）
大阪北部地震	81件
西日本豪雨	6件
滋賀米原竜巻	6件
台風12号	26件
台風20号	10件
台風21号	309件
台風24号	223件

2018年度の災害受付件数



交運共済特集

近年多発する自然災害に備え
地震風水害共済への加入を！

今年度は多くの自然災害が発生し、多くの組合員が被災しております。近年は平成28年の熊本地震、平成29年には九州北部豪雨や台風18号など、自然災害は今年だけではありません。特に台風被害は毎年のように発生しており、各地に甚大な被害をもたらしています。統計からも最も被害件数が多い自然災害は台風被害となっています。

組合員の皆様には、火災共済

への加入はもちろんのこと、地震風水害共済への加入をあらためて強く推進いたします。交運共済の日頃より窓口で組合員の対応を行っている職員の話でも、「組合員の皆様は火事や地震被害の保障を重視される傾向にあります。しかし、風水害による被害が最も多いことをご理解頂き、風水害への備えを検討して頂きたい」、「風水害への保障は火災共済だけでは不十分で、地震風水害共済とセットでご加入頂く事でより手厚い保障内容となります」など、風水害被害への備えとして、地震風水害共済への加入をお勧めする声が上がっています。

加入の訴え

「安心と安定」をサポート

国労東海本部執行委員長 長岡 正之

組合員の皆様には、日頃から交運共済の活動にご理解とご協力を頂きありがとうございます。

今年度は地震・台風・大雨など各地で甚大な被害をもたらした年でした。国労として組合員の皆様に義援金を募り、多くの組合員から賛同を受けました事を心より感謝いたします。

現在、交運共済はJR職域共済という位置づけのもとに、安心と信頼に込める共済として、「助け合い・相互扶助」の理念を持って、組合員とご家族のために加入促進に取り組んでいます。また、最近の

自然災害は、いづどこで起きるかわかりません。今年の地震・台風・大雨などの教訓を生かし、皆様の「安心」を少しでもお手伝い出来るよう、火災共済をはじめ地震風水害共済などに、加入・拡大頂きますようご協力をお願い申し上げます。

想定外の豪雨 大規模停電 自然災害の脅威

毎年各地で猛威をふるう自然災害。交通共済では被害
が大きい場合、組合員の被災した住宅まで足を運び、被
害状況確認や迅速な共済金決定のために現地認定作業を
行っています。

現地認定作業は共済職員が被害状況を直接確認する事
で、被害内容の見落としを防ぐ役割も担っています。

今年、自然災害で被害を被った組合員のエピソードを
ご紹介します。

まさかの水量で川が氾濫

岐阜県内在住の組合員Nさん
は、7月の岐阜県内の豪雨によ
り、自宅裏の川が氾濫し建物一
階に床上1メートルほどの浸水
被害を受けました。

氾濫した川は、普段は生活水
路で川幅も1メートルに満たな
い小川と呼べるものでした。し
かし、大雨がつづき水位が上昇
川から自宅まで高さ1・3メー
トルほどの高低差がありました
が、それを上回る水位に達し、
災害が発生しました。

組合員も「この地に何十年も
住んでいるが、こんな事ははじ
めて。まさか、この川が氾濫す
るなんて・・・」と驚きを隠せ
ない様子でした。

浜松で大規模停電発生

静岡県浜松市在住の組合員S
さんは、台風24号によって自宅
屋根に被害を受けました。

幸いな事に被害内容は軽微な
被害となりましたが、組合員の
住む市内の半分ほどが大規模な
停電となり、復旧までに4日ほ
ど時間を要しました。

組合員は「台風の被害はTV
アンテナや瓦のズレなど幸い軽
微だったが、停電の影響によつ
て電話や電気が使用できなかつ
た。修理業者が混み合っていて、
なかなか修理日程が決まらない。
共済金だけでも先に受け取るこ
とができてよかった。何とか冬
の寒さが厳しくなる前に修理を
終えたい」と語っていました。

2019年1月より マイカー共済制度改訂

近年、衝突被害軽減ブレーキや自動運
転技術の向上など自動車に関する大幅な
技術革新により、自動車補償を取り巻く
環境が大きく変化しております。

また、技術革新によって特定の車種等
に事故率の偏りがみられるようになり、
これらに対応していくために、マイカー
共済の制度改定を行います。

制度改定は、2019年1月以降に更
新された継続契約から、随時新制度に移
行します。

地震風水害共済

【大型】加入促進へ

現在、交通共済では火災共済にセット
で加入できる地震風水害共済を取り扱つ
ていますが、組合員より地震に対する保
障をより手厚くして欲しいと言う要望が
あり、標準タイプより保障額をアップし
た地震風水害共済【大型タイプ】が選択
できるようになっています。

地震風水害共済【大型タイプ】は一口
あたりの地震災害・風水害への最大保障
金額の充実と、カーポートや物置などの
被害に対する特別共済金制度を設けてい

- 今回の主な制度改正内容
- ① 衝突被害軽減ブレーキ (AEB) 割引の新設
 - ② 基本補償の掛金区分を型式別掛金クラ
スに変更します。
 - ③ 基本補償は対人・対物・人身傷害
補償

③ 安心サポート体制の充実

※2019年1月より全ての契約に
適応します。

ロードサービスのレッカー搬送距
離が100kmまで拡大します。
二輪も対象となります。

(他車やマイバイク特約は
対象外)

ます。

2018年10月に、地震風水害共済
【大型タイプ】への加入促進取り組みを行
い、多くの組合員にご加入頂いています。

取り組みは終了していますが、途中変
更による地震風水害共済【大型タイプ】
への加入・変更も随時受け付けています。

☆

地震風水害共済【大型タイプ】への加
入を検討の際、または変更時の掛金のお
見積りや、制度内容に不明な点等がありま
したら、交通共済東海事業本部まで問い
合わせて下さい。

(連絡先は下段参照)

家族の幸せを災害から守る
火災共済 ⊕ オプション保障
火災共済の保障力を、
さらにアップさせる新制度。

近隣の家へ損害を与えたときの「類焼損害保障」、
日常生活での賠償事故に備える「個人賠償保障」、
賃貸住宅で火事を起こした場合の「借家人賠償保障+修理費用」。
火災共済とセット加入することで大型保障を実現します。

B1424401E2144-20150209



類焼損害保障



個人賠償保障



借家人賠償保障
+修理費用

※借家にお住まいの方のみ

オプション保障(類焼損害費用保障、個人賠償責任保障、借家人賠償責任保障+修理費用)は、共済火災海上保険を引受保険会社とする保険契約であり、共済ではありません。詳しい内容は必ずパンフレットおよび重要事項説明書をご確認ください。

みんなで暮らしをガード
交通共済 (JR職域生協)
全国交通運輸産業労働者共済生活協同組合



交通共済 (JR職域生協)
全国交通運輸産業労働者共済生活協同組合

フリーコール 0120-982-847
JR電話 061-2522
ご相談等、お電話お待ちしております。